

一年間よろしくお願ひします。



昨年度は当法人にとっていろいろな出来事のある年でした。江ヶ崎アルファー工房に新たな建物を建設しました。面積が広くなり、身体障害の利用者・行動障害の強い方にとっても充実した支援が行える設備になりました。利用者・ご家族のご協力ありがとうございました。

銚子市障害福祉サービス事業者の新築工事を行う予定でしたが、不慮の出来事により工事が中断し、建設が今年度に延期になりました。新しい建物はまだありませんが、既存の古い建物と温室を利用して、令和2年4月から生活介護事業所「あおぞら三崎」を開始し、10数名の利用者に通って頂いております。当法人に新たな仲間が加わったことは嬉しい事です。

また、同じ敷地内に相談支援センター「結」を開始しました。一般の相談支援に加え、銚子市の基幹相談支援センター業務の一部を委託されました。当法人にとって大きな名誉であると考えております。早速、種の障害ある多くの市民の相談支援に取り組んでいます。

昨年の台風、今年になってからのコロナウイルス感染症は、当法人にも大きな被害を及ぼしています。特にコロナウイルスに関しては今年度もしくは来年度まで非常に厳しい試練となりそうです。そのような状況の中でも、当法人職員は一人丸となって、利用者、ご家族の皆様にも少しでもお役に立てるように努力してまいります。皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

理事長 大屋 滋

あおぞら三崎がスタートしました。

利用者様一人ひとりの特性に応じた支援、利用者様に寄り添った支援を心掛け、ご家族や地域の信頼を得られるように努力してまいります。関係者皆様のご指導、ご協力を頂きながら事業所が成長していく事が出来たら良いと思っております。よろしくお願ひ致します。



希望塾
佐藤美江 施設長

社会とのつながり、やりがいのある仕事の提供

希望塾は、令和2年4月から新体制となりました。専門指導員のもと、給食、惣菜、加工、農耕、内職と様々な取り組みをしています。利用者様一人ひとりを理解し、知識や技術、工賃アップを目指し皆さん楽しく仕事に励んでいます。これからも利用者様の思いによりそい個々の目標達成の為に丁寧な支援を心がけていきたいと思ひます。皆様方のご理解ご協力をお願い致します。



あおぞら 三崎
田中博久 施設長

親しみやすい事業所を目指して・・・

旭市の相談支援事業所ハピネスに続き、銚子市にも令和2年4月1日よりあおぞら三崎の同敷地内に相談支援センター「結」が開設されました。相談支援センター「結」は、銚子市基幹センター業務の一部を委託された事業所です。障害を持たれた方が、地域でその人らしく安心して暮らせるように24時間体制で、様々な相談を受け付けております。地域の皆様に気軽に足を運んで頂ける親しみやすい事業所を目指し、地域の皆様のご指導、ご支援を頂きながら一歩一歩歩いていきたいと思ひます。



相談支援センター「結」
所長 関 則子

銚子に新しい施設が開所しました あおぞら三崎開所



あおぞら三崎は令和2年4月に銚子市三崎園から運営を引き継ぎ、生活介護（定員20名）で発足しました。現在、利用契約者数13名、毎日の利用者数は10名程度です。

朝のダンスから始まり、午前中は作業や内職を行い、午後はカラオケや製作・ゲームなどを行っています。

利用者さんが楽しく毎日を過ごすことができ、家族の皆様から信頼のおける事業所にしたいと職員全員が頑張っています。

施設長 田中 博久

あおぞら三崎 職員紹介



施設長
田中博久



副施設長
増田直希



主任
山崎亜希子



主任
永嶋愛美



支援員
辻正美



支援員
大塚幸子



支援員
宮内有里子



看護職員
宮内和枝



調理員
栗林朝子



みんなでポーズ♪



みんなで作ったこいのぼり



多くの活動に取り組んでいます。

新職員紹介

相談支援センター「結」



主任 松島由紀江

障害をお持ちの方やそのご家族が地域で安心して暮らせるよう、相談者の気持ちに寄り添った支援を心掛けていきたいと思っております。ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。

江ヶ崎アルファー工房



支援員 北村明美

職場の環境と利用者様に早く慣れ、良い支援ができる様、日々勉強していきたいと思っております。



支援員 加瀬淳子

利用者様の皆様方が、笑顔になれる楽しい場所にしていけるように、頑張ります。

海上アルファー工房



支援員 石橋卓実

介護経験は未経験ですが、頑張ります。

